

授業科目 運動学実習

【担当教員名】 江原 義弘、大西 秀明、佐藤成登志 久保 雅義、能登 真一、桐本 光 鈴木 誠	対象学年	2	対象学科	理学・作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【概要・一般目標：GIO】

各種計測機器を用いて身体運動を計測、分析、記載する能力を修得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 動作分析装置を利用して計測した生体運動を分析することができる
2. 分析した身体運動を適確に説明できる
3. 関節トルクを計測できる
4. 筋収縮と関節トルクとの関係を説明できる
5. 筋電計を用いて動作時の筋活動を正確に計測できる
6. 筋電図を解析し、その結果を説明できる
7. 脳のラテラルリティを理解し、それを実験で確かめることができる
8. 注意や記憶といった認知機能を測定することができる
9. 運動学習・運動制御について説明できる
10. 外からの刺激に反応し、運動を開始するまでの神経経路を理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	課題Ⅰ：三次元動作分析		江原・久保
2	課題Ⅰ：三次元動作分析		江原・久保
3	課題Ⅰ：三次元動作分析		江原・久保
4	課題Ⅰ：三次元動作分析		江原・久保
5	課題Ⅰ：三次元動作分析		江原・久保
6	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係		鈴木
7	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係		鈴木
8	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係		鈴木
9	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係		鈴木
10	課題Ⅱ：関節角度と関節トルクとの関係		鈴木
11	課題Ⅲ：筋電図計測・解析		大西
12	課題Ⅲ：筋電図計測・解析		大西
13	課題Ⅲ：筋電図計測・解析		大西
14	課題Ⅲ：筋電図計測・解析		大西
15	課題Ⅲ：筋電図計測・解析		大西
16	課題Ⅳ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間		桐本
17	課題Ⅳ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間		桐本
18	課題Ⅳ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間		桐本
19	課題Ⅳ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間		桐本
20	課題Ⅳ：視覚・聴覚刺激に対する運動反応時間		桐本
21	課題Ⅴ：ラテラルリティの判別と記憶範囲の測定		能登
22	課題Ⅴ：ラテラルリティの判別と記憶範囲の測定		能登
23	課題Ⅴ：ラテラルリティの判別と記憶範囲の測定		能登
24	課題Ⅴ：ラテラルリティの判別と記憶範囲の測定		能登
25	課題Ⅴ：ラテラルリティの判別と記憶範囲の測定		能登
26	課題Ⅵ：観察による動作分析		佐藤
27	課題Ⅵ：観察による動作分析		佐藤
28	課題Ⅵ：観察による動作分析		佐藤
29	課題Ⅵ：観察による動作分析		佐藤
30	課題Ⅵ：観察による動作分析		佐藤

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	6ステップ臨床動作分析マニュアル		文光堂	2005・5,200円
参考書				
その他の資料	別途連絡する			

【評価方法】

実習態度、レポート、口頭試問

【履修上の留意点】

○5名で1班を構成して実習を行う
 ○5班で1グループ(25名)を構成する
 Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。
 実習に対する予習を十分に行ってください。